

探訪 新ライフスタイル

9月に長野県白馬村にある複合施設「スノーピークランドステーション白馬」で筆者が代表を務める賑わい創研(東京・千代田)のセミナーを開いた。同創研では会員制で商業空間の活性化などについて情報交換している。首都圏だけでなく九州や関西、東北からも会員が参加し、大自然の中

ライフスタイル

スノーピークのアウトドア体験



9月のセミナーは大自然の中で開かれた

自然や人と「共存」の価値訴求

でスノーピークの山井太会 望むため、予定していた室 願いした。急な要望に対し、 果が業績に表れている。 長の講演に聞き入った。 内のレストランから芝生エ 新潟県三条市のスノーピー 20年7月にオープンした 雄大で美しい白馬三山を リアへ急ぎよ会場変更をお ク本社から派遣されたスタ ランドステーション白馬

ッフが迅速にテントを張り 会場を設営した。山井氏に よると「800人の社員全 員がキャンパーですから容 易なこと」という。

キャンプ用品を中心とす るアウトドア関連製造販売 のスノーピークの2020 年の売上高は167億円 と、16年から8割以上伸長 した。7年前に山井氏は「ア ウトドアメーカーで米アッ プルのような会社にした い」と話していた。常に変 化や革新で時代の流れを変 えることに挑戦してきた結 果が業績に表れている。 20年7月にオープンした ランドステーション白馬 は、JR白馬駅から徒歩10 分の場所にある。かつては スキー利用者向けの駐車場 だった。山井氏はこの地に 立った瞬間、素晴らしい眺 望に体が震えたという。

白馬駅周辺にはアウトド アショップが立ち並ぶが、 モノだけを提供するのは ない「衣・食・住・働く・ 遊ぶ」を体現するキャンパ ーのコミュニティを作ろう と決めたという。

テラス席で景色を眺めな がらのカフェ体験、ミシュ ラン三つ星を獲得したシェ フ監修の地域食材を使った レストランでの食体験、国 内最大規模の直営店での買 い物をそれぞれ楽しむ「店 舗エリア」が中核となる。

ここにキャンプができる 「野遊びエリア」、週末マ ルシェなどを開く「イベン トエリア」が溶けあい、施 設全体が活気づく。

スノーピークは全国各地 で毎年ユーザー参加型キャ ンプを開いている。親睦を 深めつつユーザーの要望、 意見を聞き商品開発や店舗 運営に生かす。14年の株式 公開時には株主から急速な 事業拡大を求められ、強み のとがった感覚がそがれる との見方もあった。しかし それは杞憂(きゆう)だっ た。信頼し合える優良顧客 (商い創造研究所代表 松本大地)